



### 筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる”2018年6月-春号

—OB・OG と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

## INDEX

1. 3学にハラル食堂開店／越智小夏  
—異国の味で気分転換しませんか
2. つくばをロードバイクが走る／徳永翼  
—いま、つくばはサイクリングブームです
3. 筑波大学ぶらり旅／金久保響子  
—知る人ぞ知る、筑波大学のあれこれをご紹介します！
4. 学生が作ったバー Maghreb の魅力／山野実菜  
—一日の沈む場所で話の輪を広げませんか
5. 宿舎に宅配ボックスが設置 /前名裕一  
—筑波大学の学生宿舎が便利になりつつあります
6. 筑波大学のフリーペーパー／添島香苗  
—筑波大発のフリーペーパーをご紹介します
7. 幻想的な空色、ネモフィラの絶景 /橋野朝奈  
—ネモフィラの魅力をお伝えします
8. クラシック音楽のある生活／吉永真理  
—日常のシーンに合わせてお気に入りの曲をご紹介します

## 1 3学にハラール食堂開店



新年度になり忙しい日々が続いていることと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。筑波大学も春休みが明けて授業が始まり、学生は忙しい毎日を送っています。

さて、そんな久しぶりの授業に疲れた日には美味しいものを食べるのが一番ということで、3学に新しくできたハラール食堂「粉とクリーム Halal Cafe」に行ってきました。

「粉とクリーム Halal Cafe」は、今年の4月、3学の名店街に新しく開店した、ハラール食を提供するカフェです。ハラール食とは、ムスリムが食べることを許されている食材や料理のこと。もともと2学にハラール食を提供する食堂「カフェマルハバン」がありましたが、利用客が多すぎて昼休み中に食事が出来ないとの声が多くあがったことから、3学にも新しく開店しました。

店内はイスラム圏のレストランをイメージしており、黒と金を基調としたおしゃれな空間になっています。普段の学食と違った雰囲気店内に、ちょっとした異国感を味わえました。

店の一番人気は「チキンオーバーライス」。

パラっとした黄色のインディカ米の上にチキンとレタスが載っており、上にかかったチリソースの赤色が食欲をそそります。ライスに加えてフライドポテトとスープもついていて、ボリュームもたっぷり。

インディカ米は食べなれておらず最初は少し不安でしたが、実際に口に入れると、程よくかおるスパイスとピリッと辛いチリソースに、どんどん箸が進みました。



店には他にも、「からあげ丼」や「日替わりチキンソテー」などボリュームたっぷりのメニューが盛りだくさん。単品のフライドポテトも販売しており、軽い休憩にも使えそうです。また昼休みに合わせて、個数限定でお弁当も販売しています。天気の良い5月、芝生でお昼を食べる学生も多いのか、店員の方によると毎日あっという間に完売してしまうそう。

GWも終わり、次の連休は7月中旬。代わり映えの無い日々に疲れた時には、「粉とクリーム Halal Cafe」で異国の味を楽しみ、気分転換をしてはどうでしょうか。

(人文・文化学群 比較文化学類3年 越智小夏)

## 🌸 2 つくばをロードバイクが走る



この頃、つくばにほど近い土浦駅がサイクリングをする人で賑わっています。3月にリニューアルオープンした駅ビル・プレイアトレ土浦は「サイクリングリゾート」を標榜し、シャワーや更衣室を兼ね備えたサイクリングの拠点として注目を集めているほか、つくばや霞ヶ浦周辺のコースは雄大な筑波山を眺めながら走りやすく、人気とのこと。確かにつくば市内でも近頃ロードバイクに乗った人たちを多く見かける気がします。ということで、今回はつくば近郊の最新のサイクリング事情についてお伝えします！

さて、筑波大学卒業生の皆さんなら大学から自転車で20分ほど北上するとサイクリングロードがあったことをご存知かもしれません。鉄道の廃線跡が自転車用に舗装され、土浦からつくばを経て岩瀬へと至る「つくばりんりんロード」です。春の時期になると道沿いの桜や菜の花が見る人を楽しませます。加えて2年前には土浦を起点に霞ヶ浦を一周するルートも全通。この2ルートを合わせた「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は総延長約180キロメートルと、日本でも屈指の長さだとか。

とはいえ、サイクリングをしたいという気持ちはあっても、「ロードバイクってお金がかかるんでしょ？」と二の足を踏む方もいらっしゃるかもしれません。しかし、自転車を持っていなくてもロードバイクを貸出してくれる場所があるのでご心配なく。TXつくば駅前やJR土浦駅周辺などで、1日2000円でロードバイクがレンタルできます。(クロスバイクは1500円)

### ●実際に走ってみると……？

実は筆者も何度かつくば霞ヶ浦りんりんロードを利用したことがあります。せっかくなので、つくば駅から筑波大学を経由して土浦駅に至るルートをご紹介します。記事を終りたいと思います。さて、TXつくば駅に到着したら、バスターミナル横のBiviつくばを目指しましょう。1階のつくば総合インフォメーションセンターで自転車貸し出しの受付が行えます。3日前までの予約が必要なので、利用される方はホームページ等をしっかりチェックしてくださいね。また、同じビルの2階には筑波大学のサテライトオフィスも入っているのでついでに寄ってみるのもいいかもしれません。講演やボードゲームのイベントなど、様々な催しが頻繁に開催されています。

さて、自転車を借りたらさっそく出発しましょう。つくば駅からサイクリングロードに至る道はいくつかありますが、今回は筑波大学を通る道を選択します。駅からペDESTリアン

デッキを北に向かうと懐かしの筑波大学です。つくば市は南北を軸に自転車と歩行者用のペDESTリアンデッキが整備されているのでどこへでもすいすいと行けて便利ですね。らんぷや学生会館が並ぶ平塚線が見えたら右へと曲がりましょう。スーパーや居酒屋が立ち並ぶ桜地区を抜けると青々とした田んぼが広がってきます。左手に筑波山や宝篋山を望みながら道を進んでいると、横切る形でつくばりんりんロードが見えてきます。そのまま右手に進んでコースに入り数分すると、藤沢休憩所が見えてきます。廃線跡を利用しているので、道の両脇に鉄道のホームが。初めて見る方はびっくりするかもしれません。田園地帯を通る道は平坦で少し退屈かもしれませんが、沿線の景色を眺めながら風を切るように走っていると心落ち着きます。

終点の土浦駅までの総距離はおよそ 20 キロ弱。2 時間ほどの身近な旅路です。駅ビル・プレイアトレ土浦にはシャワーがあるほか、途中ルートを逸れると温浴施設もあるので、さっぱりとした気分でも帰ることも可能。自転車は土浦市街でも返却可能なので、そのまま常磐線に乗って帰宅することもできます。霞ヶ浦周辺では遊覧船などのレジャーもありますので、そのまま観光を楽しむのもいいかもしれません。ぜひ一度、サイクリングでリフレッシュをしに来てはいかがでしょうか。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 4 年 徳永翼)



筑波大学構内での1つめの注目ポイントは、舗装がされておらず草が生い茂っている道、



いわゆるケモノ道の多さです。今回のフィールドワークでも筑波大学のケモノ道を2カ所ほど通りました。その中でも1番険しかったのは松美池の隣にあるケモノ道です。このケモノ道は筑波大学本部南駐車場から柴崎の交差点近くまで続いています。本当にこれは道なのか……と疑いたくなるような道でした。写真がそのケモノ道です。普段はあまり人の通らないような道だったので、フィールドワークに連れて行ってくれた先生はなんでこんな道を知っているのか不思議になりました。

ご存じの通り、筑波大学はたくさんの木々に覆われています。筑波大学に日々通う人々は舗装してある道以外に近道を見つけ、その道を多くの人を通るようになることによって草が踏み固められケモノ道ができます。筑波大学では、そのようにしてできたケモノ道が実際に舗装され、道が増えるということがよくあるようです。もしかしたら読者の皆さんが作ったケモノ道が、今では舗装されているかもしれません。でも、ご

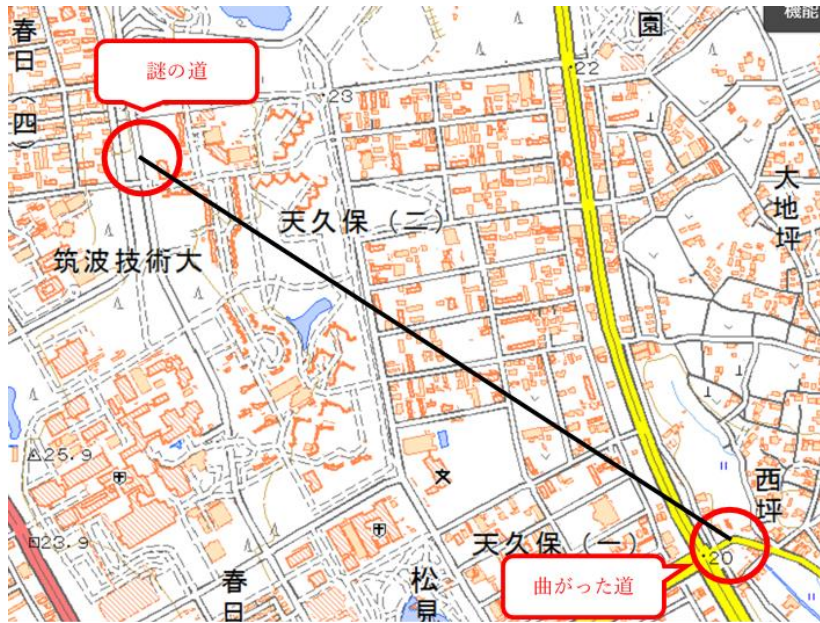
紹介した道が舗装されることはなさそうですね……。

2つめの注目ポイントは謎の道です。平砂学生宿舎の西側に通るループ道路に不思議な

道があります。写真がその道です。歩道が途切れ、その先に道が続いていそうなのにその先にあるのは林です。不思議に思いますよね。なぜ道が途切れてしまっているのか、この謎を解くヒントは西坪地区にあ



ります。西坪には地図の右側の赤丸のように不自然に曲がった道があります。以前はこの西



坪の道から筑波大学構内の謎の道まで、黒線のような1本の道が通り、土浦まで続いていたようです。これが取り壊され、筑波大学構内には謎の道が残ったというわけなんです。この話を先生から聞いたとき、私はとてもわくわくしました。地域の事象のほとんどには理由があります。地域の謎を解き明かすのはとてもおもしろいですよね！

3つめの注目ポイントは今建設中のスーパーマーケットです。本学から平砂学生宿舎に行く途中の空き地でスーパーマーケットが建設されています。写真は建設中の工事現場の様子です。学校帰りに寄ることができるため、学校の近くにスーパーができるのはとてもありがたいです！

このスーパーマーケット建設計画の主な目的は学生の利便性向上にあるようですが、スー



パーマーケットを建設して人を集め、近辺の治安を良くするという目的もあるようです。学生だけではなく、地域の人にも集まるような明るい場所になるといいですね！

以上、筑波大学構内の注目ポイントをご紹介しました。今回は3つご紹介しましたが、筑波大学は広だけあり、たくさんの注目ポイントがあります。お休みの日に筑波大学を訪れ、ゆっくり散策してみるのはいかがでしょうか。ここまで、読んでいただきありがとうございました。

(教育研究科教科教育専攻社会科コース1年 金久保響子)



## 4 学生が作ったバー Maghreb の魅力



今年3月、天久保2丁目のリッチモンド2番街に新しいバーができました。その名も「Maghreb (マグリブ)」。そこはただのバーとは違い、なかなか新しい仕組みになっています。といいますのも、その日限りの1日店長がお店に立ち、料理や飲み物を提供するという形で、テーマも店長ごとに違うとのこと。このなんともユニークなバーについて詳しくお伝えしたいと思います。

1日店長はMaghrebのツイッターやホームページから連絡すれば誰でもやることのできるそうです。過去に行われたバーには、哲学バーやLGBTバーなどあれば、落単バーや再就活バーなど学生ならではのテーマもあり、学生街にはもってこいのバーだと感じました。



私も実際に何回かバーに行ってみました。1つは哲学バー、その名の通り哲学愛の強い方が来ていて、哲学の良さやオススメの本を教えてくださいました。また、幸福観について語り合ったり、親孝行について語り合ったり……さすが哲学通、とても深いお話ができました。

もう1つは平穏と喧騒バー、この日の1日店長お手製のドライカレーをいただくことができました。常にお店に置かれている飲み物や食べ物に加え、その日の1日店長が特別に用意するものがいただけるのも魅力の1つです。

知らない人でも気軽に話ができるバーで、行くうちに知り合いの輪も一気に広がりました。

なんとこのバーを立ち上げたのは3名の筑波大学生なのです。その中の1人、人文学類現2年生の森本さんに、このようなバーを作った理由を聞いてみました。彼は、つくば周辺には近いエリアに面白い人たちがたくさん住んでいるのにも関わらず、個々のつながりが多いのはもったいない、と嘆いていました。中東では日没のお祈りの時に色々な世代の男女がモスクに集まって情報交換や日常の会話を楽しむという風習があるので、そのような場所をここにも作ろうと思ったことがきっかけだそうです。だからこそ「Maghreb」アラビア語で日没、日の沈む場所という意味の言葉がお店の名前となっています。

話の輪が広がる、自分の視野も広がる、そんな素晴らしいバーにぜひ足を運んでみてはいかがでしょう。

Maghreb のホームページ→<https://maghreb141522.wixsite.com/Maghreb>

ツイッター→@Bar\_Maghreb

(人文・文化学群 比較文化学類2年 山野実菜)



## 5 宿舎に宅配ロッカーが新設

卒業生の皆さまの中にも住んだ経験のある方が多いであろう筑波大学の学生宿舎。学生宿舎の生活では、きっと不便な思いをされた方もいらっしゃると思います。最近、そんな学生宿舎が便利になってきています。今年2月には平砂宿舎の解体が決まった棟を除いたすべての宿舎で瞬間湯沸かし器が設置され、年中お湯が使えるようになりました。さらに、5月には一の矢宿舎と平砂宿舎に宅配ロッカーが設置されました。

宅配ロッカーは、宅配業者が配達物を入れて受取人が受け取るというもので、宅配便の再配達の手間や、宅配便が来るのを家で待つ必要がなく、非常に便利な優れものです。特に授業を多く履修し、日中は宿舎を空けることが多い1年生がたくさん住む宿舎に設置されたことで、1年生が宅配便を待ち、授業やアルバイトに遅れる可能性がなくなりました。また業者が不在を理由に再配達をする必要がなくなり、学生と業者の両方にとってとても便利になったといえるでしょう。



近年では大学周辺に家賃の安いアパートが増加したこともあり、改修棟でも4月以降に入居者募集をかけるほど宿舎に入る学生が減少しています。また、日本人の学生と留学生の交流を目的とした新しい宿舎「グローバルヴィレッジ」や平砂地区での商業施設の建設、平砂宿舎で利用廃止が決まった棟の解体など、筑波大学の学生宿舎は現在大きな変化の中にあります。卒業生の皆さまが知る宿舎の姿はなくなりつつあると思いますが、宿舎は今もなお多くの学生を受け入れ、学生生活を支えています。この記事が卒業生の皆さまの宿舎生活の記憶を思い返し、また現在の宿舎の姿に思いをはせるきっかけになれば幸いです。

(社会・国際学群社会学類4年、前名裕一)



## 6 筑波大学のフリーペーパー

私事で恐縮なのですが、最近フリーペーパーにはまっています。フリーペーパーは、駅やお店に設置されていたり、家の郵便受けに入っていたりする、無料の小冊子のこと。制作費が広告収入で賄われているものもあれば、個人が完全に趣味で出しているものもあります。内容も、地域や飲食店の紹介といったオーソドックスなものから、スナック、お茶、建物の屋上などニッチな分野を扱ったものまであって、とっても面白いんです！

筑波大学でも複数の団体がフリーペーパーを発行しており、私も楽しく読んでいます。そこで今回は、筑波大学で手に入るフリーペーパーの中からおすすめのもの3誌をみなさんにご紹介します（注：写真は、筆者が個人的に入手したものです）。

### \* 『ツクマガ』



まずはこちら。「学生団体 C<sup>4</sup>」が発行するフリーペーパーで、創刊は2003年4月。同団体はつくば地域情報サイト「ツクナビ」の運営もしているので、ご存知の卒業生の方も多いかもかもしれません。

ツクマガはセンスがいい！と読むたび思います。「C<sup>4</sup>」のメンバーに芸専が多いこともあって、イラストや誌面デザインがとても素敵。

内容は、キラキラ大学生という感じ。18年4月発行の最新号では、たこ焼きパーティーやピタゴラ装置作りをみんなでわいわいやってみたり、全学類の授業に潜入してみたり。いいなあ楽しそう……。大学生の「楽しい」が沢山詰まっているように思います。

ツクマガは筑波大の附属図書館などで配布しているほか、郵送にも対応しているようです。気になった方は是非読んでみてください。

学生団体 C<sup>4</sup> 公式ホームページ <https://c4-office.com>

### \* 『WORD』

個人的に凄く好きなフリーペーパー。情報科学類の有志が不定期発行する学類誌で、創刊は1977年とかなり歴史があります。

内容は、大部分がプログラミングの話で正直私にはさっぱりなのですが、時々ぶっ飛んだ記事があってとても楽しい。例えば、ディープすぎる地下アイドルのライブのレポートだったり、学内で採れるキノコをソーシャルゲームの「ガチャ」に見立てて紹介する記事だったり、段ボールで小物入れやPCケースを作ったり。筆者一人ひとりが趣味全開！ という感じで、その振り切れた感じが良い。文章もユーモアがあって面白いです。

第3エリアや図書館で手に入りますが、サイトでPDF公開もしています。毎回の発行が楽しみなフリーペーパーの一つです。

WORD 公式ホームページ：<https://www.word-ac.net>

## \* 『Milk』



最後に、知識・情報図書館学類誌をご紹介します。創刊は2011年で、同学類の有志が年2回発行しています。

ほのぼのとした雰囲気が魅力。『ツクマガ』がキラキラ大学生なら、『Milk』はゆるふわ女子大生という感じ。内容は知識生らしく、活字関連の記事が多め。学生の家の本棚を写真付きで紹介した記事や、おすすめ本の紹介など、活字好きな私に刺さります。『WORD』の情報科学類と同じ情報学群なのに、ここまで雰囲気が違うとは。学類のカラーを知れるのも、学類誌の面白いところ

ですね。

図情図書館の掲示板前で手に入りますが、こちらでもサイトでPDFを公開しています。

MILK 公式ホームページ：[http://klis.tsukuba.ac.jp/klis\\_milk/#home](http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/#home)

いかがでしたか？ 卒業生のみなさんが、在学中に読んでいたものもあるかもしれませんね。今回紹介した3誌はいずれも、大学に足を運ばなくても読むことができます。フリーペーパーを通じて、今の筑波大生の日常を覗くのも楽しいかもしれませんよ！

(生命環境科学研究科 生物科学専攻 博士前期課程2年 添島香苗)

## 7 幻想的な空色、ネモフィラの絶景



春を可憐に彩る花の一つ、「ネモフィラ」。いくつかの花色がありますが、青色の品種が代表的です。茨城県ひたちなか市にある「国営ひたち海浜公園」はネモフィラの名所として知られ、見頃になると毎年多くの観光客が訪れます。「いつかは生で見てみたい」と思い続けて数年、念願叶って初めてネモフィラを見に行ってきました。今回はその様子をレポートしたいと思います。

今年は開花時期が例年より10日ほど早く、4月中旬から下旬にかけて見頃を迎えたため、GWにはすでに見頃を過ぎてしまったそうです。当初はGWに行く予定だったのですが「折角なら満開のネモフィラを見たい!」と、予定を調整し、ひたち海浜公園に向かったのは4月23日。天候はあいにくの曇りでしたが、平日だったために来場客は比較的少なく、とても歩きやすかったです。

車を停めて広大な公園を歩くこと10分。「ネモフィラの丘」にたどり着くと、そこには幻想的な青色のグラデーションが広がっていました。



曇り空なのが残念ですが、一面に広がるネモフィラはまさに空よりも青く、青色の絨毯が広げられているようでした。ひたち海浜公園では、3万5000平方メートルほどに約450万本が植えられているそうです。

また、遠くから見て美しいネモフィラは、近くで見てもまた違った良さがあります。2～3センチの小さな花は、よく見ると一つ一つ色の濃淡が違っており、見ていて飽きません。



ずっと憧れていたネモフィラに興奮し、写真を撮り続けながら気づけば1時間近くが経っていました。スマートフォンがネモフィラの写真でいっぱいになりましたが、どれも実物の美しさには敵いません。「来年もまた来よう」と決意し、ネモフィラの丘を後にしました。

ひたち海浜公園ではネモフィラだけではなく、初夏にはバラ、夏にはヒマワリ、秋にはコスモスやコキアが見頃を迎え、1年にわたってさまざまな種類の花を楽しむことができます。季節の花の鮮やかな彩りで、心を癒してみたいかがでしょうか。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類4年 橋野朝奈)

## 8 クラシック音楽のある生活



汗ばむ陽気で初夏を感じる季節となって参りましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。私事ですが、管弦楽団に所属していることもあり、この春はクラシック音楽に触れる機会に恵まれました。素敵な曲に出会うとその魅力を誰かに伝えたくくなります。今回は、勝手ながら私が気に入った曲を日常のシーンに合わせていくつかご紹介しようと思います。クラシック音楽に触れたことの無い方でも耳に馴染みやすいであろう曲を選びました。

### ①朝

前日どんなに遅くまで起きていても、目覚ましの音で目を覚ましきちんと朝食を食べてから一限に向かう優雅な大学生でありたいものです。きちんと起きられた暁には、こちらの素敵な曲をかけることで気持ちの良い朝を迎えたいです。

— 「チャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 作品23 2楽章」

第1楽章は飛ばしますが、第2楽章の控え目な明るさが早朝の清澄な空気にぴったりです。「陳腐で不細工」と酷評されたこともある曲ですが、この楽章の美しい旋律には自然と心が洗われ、新しい気持ちで一日をスタートできる気がします。また、フルートから始まりピアノや他の木管楽器のソロが続くので、様々な楽器の音色が楽しめる曲でもあります。

### ②通学中

寝ている体を無理やりたたき起こして前進しなければならない朝の通学路。満員電車にも負けずに気分を盛り上げていきたいところです。電車内で、駅構内でイヤホンを通して聴くのはこの曲です。

— 「ベートーベン/交響曲第2番ニ長調 作品36」

第1楽章は全体的にアップテンポで進み、オーケストラならではの心地よい疾走感にはロック魂のようなものすら感じられます。推進力のある弦楽器の鋭いリズムと要所要所に散りばめられたアクセントや休符がくせになり、何回でも聴きたくくなります。第2楽章は一転、緩やかな速さでそれぞれの楽器の旋律が対話的に優しく紡がれます。その後は、変則的で些か剽軽な印象の第3楽章、明るく牧歌的な要素のある第4楽章が続きます。家などで落ち着いて聴くというよりも、通学中に歩きながら聴くことで今日も一日頑張ろうと励まされる曲です。



### ③就寝前

ベッドに入ってから寝るまでの間、あまり眠くない時は暇になりますよね。そんな時にこの曲を聴くと癒されると同時に良い睡眠導入にもなります。

#### ー「ドビュッシー/ベルガマスク組曲」

全4曲から構成され、なかでも第3曲目の「月の光」は有名で、ピアノの発表会でよく使用される曲の一つです。第4曲目の「パスピエ」は行進曲調の古典舞曲で、規則正しい伴奏と仰々しい表現を抑えた知的な旋律に惹かれました。「ベルガマスク」とは北イタリアのベルガモ地方（アールグレイに使われるベルガモットもこの地名に由来すると言われていいます）に伝わる舞曲のことです。なかなか寝付けぬ深夜には、素朴さの中にも神秘的な響きを含むこの曲を聴きたくくなります。

いかがでしたでしょうか。ここまで、勝手ながら私の好きなクラシックの曲をご紹介します。大学のことに関連付けられず脈絡の無いものになってしまい申し訳ありません。これからはサークル活動を頑張りつつ、もっと多くクラシック音楽を聴いていきたいと思えます。お付き合いありがとうございました。

(生命環境学群 生物学類3年 吉永真理)



### 編集後記

ペデジャーなる読者の皆さま、初めまして。今年度編集長を務める社会・国際学群社会学類4年の前名裕一と申します。これから1年間、お付き合いの程よろしく願いいたします。

前編集長からいきなり編集長の座を引き継ぐこととなり、驚きを隠せないまま春号の作成に突入しました。多くのメンバーをまとめる経験は初めてで、いろいろと苦労することはありましたが、無事に春号を配信出来たのは編集員の協力があったこそだと感じております。

今年は10人の編集員で筑波大学の「今」をお伝えしてまいります。今回の春号はネモフィラやサイクリングコースといった季節を感じる出来事、第三エリアでのハラル食を扱う飲食店の開店や宿舎での宅配ロッカーの設置など筑波大学の「今」を感じる出来事などいろいろお伝えしました。筑波大の中に限らず、いろいろな風を感じることができるのもペデジャーなるの良さかもしれません。

今この記事を読んでいる卒業生の皆さまは、現在ではつくば市を離れている方は大半だと思います。ですが、私たちが書いた記事が皆さまにとって、大学時代やつくば市での生活の記憶を思い起こすきっかけになれば幸いです。私も卒業まで1年を切り、この筑波大やつくば市で生活するのもあとわずかだと思えば、寂しさがこみあげてきます。だからこそ、記事を書くことを通じて楽しい思い出を一つでも増やすつもりです。もちろん、皆さまに楽しんでいただけることを第一には考えております。

最後に、春号の制作に関わった皆さまにお礼を申し上げて、この後記を終えようと思います。今年も、ペデジャーなるでお楽しみいただけるよう、これからも全力で制作してまいります。

社会・国際学群社会学類4年 前名裕一



## 筑波大学のいろいろな取組みのご紹介

### 筑波大学アリアンサエステートコーヒー

#### 新しくネルドリップアイスコーヒーが誕生しました！



ローストアーモンドのような香り  
ダークチョコレートのような味わい  
後味はココアのような余韻が残ります。

500ml 750円(税込)

つくば市内のサザコーヒーもしくはオンラインショップにて是非ご購入ください。

※現在は店舗のみの販売となります。

○サザコーヒーオンラインショップ：

[http://www2.enekoshop.jp/shop/coffee/item\\_detail?category\\_id=85962&item\\_id=2137940](http://www2.enekoshop.jp/shop/coffee/item_detail?category_id=85962&item_id=2137940)



筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>



筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)



編集・発行：「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ



デザイン・配信作業：国立大学法人筑波大学事業開発推進室



ご意見・問い合わせ先：国立大学法人筑波大学事業開発推進室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.